

平成29年1月19日 商経機械新聞(5面)に掲載されました



日本リアルオプシヨン学会がこのほど東京で開催した公開研究会で、日東精工(京都府綾部市)の材木正己社長が『地方の企業経営』が「上場企業と「半農半立、工業用ファスナーX」が共存する魅力」をテーマに講演した。

材木氏は、会社概要に続き、地方の企業経営、日東精工の企業経営の考え方を概説、社員のやりがい高め企業業績に結びつけること、結果的に地域貢献が、測制御・検査機器を一貫製造し、最適なファスニング・ソリューションを提供、地域に根を下ろした経営理念を貫く。

「会社設立時は、地元有志の株主を募り共存共栄を大切に

し、現在で言うCSR(地域貢献)を創

材木正己日東精工 社長がCSRで講演



講演する材木正己社長

献につながると述べ、本社工場を置きながら自治体と一体となって一部上場企業として揺るぎない経営基盤の構築に努める独自の経営姿勢を強調した。

「良い仕事をするには良い人財を育てること」と材木氏は締めくくった。

同社は1938年設